

社会的課題解決の担い手育成とは

—第4回社会イノベーター公志園・結晶大会、早稲田大学大隈記念講堂で考える—

開倫塾

塾長 林 明夫

Q：早稲田大学大隈記念講堂には何をするために行ったのですか。

A：11月3日(火)に、第4回社会イノベーター公志園(こうしえん)・結晶大会が開催されたためです。

Q：社会イノベーター公志園とは何ですか。

A：経済社会の課題解決に斬新な手法で挑戦し、未来を拓く社会イノベーターを一人でも多く発掘、育成、支援し、それらの挑戦者の思いを世代やセクターの垣根を越えて共感と信頼の輪を広げ、より大きなイノベーションを生み出していくこと。これが私たちの希望と未来を創り出すことにつながると、実行委員会の実行委員長であり、経済同友会前代表幹事の長谷川閑史 武田薬品工業会長は述べておられます。

Q：結晶大会とは何ですか。

A：半年間にわたるリーダーシップ開発プログラムである社会イノベーター公志園の中心的な大会です。①募集・告知、②出場者の選考と最終決定、③キックオフ、④集合ワークショップ、⑤出場者ごとの伴走チームの組成、⑥伴走者との対話、⑦相互啓発・地域での公開相互支援会、⑧伴走者との対話の継続とリーダーとしての成長、⑨最終相互支援会を経て開かれるのが、⑩集大成の結晶大会です。

Q：素晴らしい人材育成プログラムですね。ところで、結晶大会のあともプログラムは続くのですか。

A：はい。その通りです。⑪公志園フェローシップ プログラムを終了した出場者は「公志園フェロー」として公志園の場とネットワークに迎えられます。⑫ペイフォワード DVD による活動の紹介と支援、⑬フェローへの継続支援、⑭公志園ネットワークへの参加 と続きます。毎年の公志園ネットワークの大切な担い手ともなっているようです。

Q：公開相互支援会とは何ですか。

A：リーダーシップ開発プログラムの期間中、集合ワークショップ、伴走者支援と併行して月に1回のペースで東北、関東、中部・東海、関西、九州など全国各地を巡りながら開催されるものです。名古屋での中部・東海の支援会には200名もの参加があったそうです。

Q：結晶大会は何をするのですか。

A：半年間のプロセスの集大成となるのが結晶大会です。

未来をつくるリーダー育成と協働のしくみを通じた優劣を決める「決勝」大会ではなく、出場者が内省と対話を通してクリスタルライズ(結晶化)させた思い、志、ビジョンを披露する「結晶」大会です。結晶大会においては出場者の相互選出で選ばれた代表発表者が完成した5分のショートムービーを上映し、10分間のプレゼンテーションを行います。それ以外の上場者もショートムービーを披露し、自身の思いを補足。聴衆は支援カードを記入し、出場者にエール

を送ります。

2011年1月22日一橋大学記念堂での第1回結晶大会には14名、2012年7月21日の気仙沼での第2回結晶大会には16名、2014年3月8日の立教大学での第3回結晶大会には14名、そして、2015年11月3日の早稲田大学大隈記念講堂での第4回結晶大会には18名が出場しました。

Q：第4回の本年は、どのような人が社会イノベーターとして出場したのですか。

- A：(1)「福祉」の枠にとらわれず必要な人に必要な支援をつくり続ける、**河内崇典** NPO み・らいず代表理事
- (2)路出脱出を叶える多種多様な選択肢、あそこに行けば何とかできるという安心感を指す、**川口加奈** NPO Home doctor 理事長
- (3)「場所遊び」を通じて、まちづくりの主体者ネットワークの十勝から日本へを目指す、**後藤健市** (株)プロットアンドパシフィック代表取締役
- (4)ガンになってもその人らしく生活できる伴走支援のある地域づくりを目指す、**佐藤真琴** (株)PEER 代表取締役社長
- (5)農業を通じて「新たな結」を広げ日本を豊かにしたい、**白石長利** いわき 6次化協議会 理事長
- (6)地域住民と行政がともに考え、ともにつくるための環境づくりを目指す、**関治之** コード・フォー・ジャパン代表理事
- (7)半径2km圏内の生ゴミ循環で元気なコミュニティ実現を目指す、**たいら由以子** NPO 循環生活研究所理事長
- (8)地域資源を世界の舞台へデビューさせ「イキイキした地方」の実現を目指す、**竹川隆司** 東北フードマラソン&フェスティバル代表理事
- (9)アジア、そして日本の子どもたちのために学校建設をする**谷川洋** NPO アジア教育友好協会(AEFA)理事長
- (10)自然と共生できる再生可能エネルギーから始まる住民主権の地域経済社会の自立支援モデルを目指す、**豊岡和美** 徳島地域エネルギー事務局長
- (11)先人の智慧から学び、今を生きる私たちの感性を和えて新しい暮らし方を創る、**矢島里佳** (株)和える代表取締役
- (12)持続できる「トイレの仕組み」で夢を実現する機会を提供する、**山上遊** (株)LIXIL、R&D本部新事業研究センター主幹
- (13)産後から世界を変える、**吉野マコ** NPO マドレボニータ代表理事
- (14)聴覚バリアフリーで高齢者・聴覚障害者の社会参加の実現を目指す、**一瀬宗也** (株)アイセックジャパン代表取締役
- (15)笑顔と太陽の畑、地域と野菜でつながり、誰もが暮らしやすい社会を目指す、**伊東文弥** NPO つくばアグリチャレンジ副代表
- (16)地方創生を目指す、**菅原茂** 気仙沼市長

Q：第4回出場者の相互選出で選ばれた代表発表者はどのような人ですか。

A：「カカオを通して世界を変える」の新しい展開にワクワクが止まらない、**吉野慶一** (株)Dari-K 代表取締役です。

吉野慶一氏は栃木県足利市出身。佐野日大高校、慶應義塾大学経済学部在学中にシンガポール国立大学留学を経て、京都大学大学院・オックスフォード大学大学院修士課程を各々1年で修了後、モルガン・スタンレー社に入社。ヘッジファンドでの金融アナリストを経て、2011年3月11日に京都・三条商店街にDari-Kを開店した34歳。18歳のころから60か国を旅したバック・パッカー。

本物志向のこだわりチョコレートをベースに、インドネシアのカカオの様々な可能性にチャレン

ジ。インドネシアでのカカオの栽培から輸入・焙煎・製造・販売に至るバリューチェーンを一気通関する日本初のシステムを完成。自家焙煎した香り高いカカオはチョコレートに新鮮という概念をもたらし、設立から4年という異例の速さで世界最高のチョコレートの見本市であるパリの「Salon du Chocolat(サロン・デュ・ショコラ)」に出展。銅賞に輝く。インドネシアでは焼き畑農業をしているトウモロコシ農家にカカオ栽培のノウハウを直接指導して、収入向上と森林保全によるCO₂クレジットの創出を目指す社会イノベーターです。

*以上は、「社会イノベーター公志園 2015」のパフレットを参照しました。詳細なHPもありますので是非、御参照ください。

Q：学習塾・予備校・私立学校の経営幹部の皆様にお伝えしたいことは何ですか。

A：(1)社会的課題の解決には、その担い手である社会イノベーターの育成が不可欠です。
(2)社会イノベーターの育成をどのようにしたらよいかの参考になるのが、この「社会イノベーター公志園」の取り組みです。
(3)この運動の運営事務局の代表者は、日本におけるリーダーシップ教育の第一人者である野田智義 NPO アイ・エス・エル(ISL)理事長です。
(4)是非 HP や大会の DVD などを活用し、先生方の教育機関でも「社会イノベーター」育成を積極的に推し進めて頂きたいと思っております。

Q：最後に一言どうぞ。

A：今月も、読めば必ずお役に立つ本を御紹介いたします。
(1)テニー・ピニェイロ著、武山政直訳「サービス・スタートアップイノベーションを加速するサービス・デザインのアプローチ」早川書房 2015年11月15日発行。訳者の武山先生は慶應義塾大学経済学部教授で、日本におけるサービス・デザインの第一人者。本書はサービス産業のイノベーションに必ずお役に立ちます。
(2)松尾和明著「21世紀型スキルとは何か—コンピテンシーに基づく教育改革の国際比較—」明石書店 2015年2月25日刊と坂野慎二・藤田晃之著「海外の教育改革」放送大学大学院教材、放送大学教育振興会 2015年3月20日刊の2冊も是非、御一読ください。日本の教育改革の目指すものがよく理解できます。

*本年も1年間大変お世話になりました。2016年もよろしく願いたします。

— 2015年11月6日記 —
(宇都宮大学大学院工学研究科 客員教授)